



講師の佐々木記者が各館報を講評

7月8日、松尾・下久堅・竜丘・上村・南信濃の公民館

委員80人が参加して、Cブロック公民館情報交換会が南信濃公民館で開催された。松尾からは16人が出席、他館の事業や取り組みを知り、今後の公民館活動のあり方を考える機会となった。

この会はブロック内の委員同士が研修、研鑽、情報交換することを目的に平成17年度より開かれており、今年度は上村公民館が幹事館となり、南信濃公民館を会場に行った。

いいところ学ぼう Cブロック公民館委員が交流

はじめに全体会では、下久堅公民館前館長の松本富雄さんが「ひさかた今昔物語（第3編）の編纂について」と題して、郷土愛を感じさせる熱のこもった事例報告を行い、参加者は興味深く聴いた。

続く分科会では、文化・育成は地域の「今昔」をテーマにした事業について考え、体育は「カップ」という北欧諸国で人気のスポーツを体験。広報は南信州新聞社の佐々木崇雅さんから、館報作成の基礎と写真の撮り方の講習を受けた。広報委員たちは公平性と正確性など記



カップの説明を受ける委員ら

天竜川の洪水から命を守る 初の大避難訓練

住民同士で『パートナーシップ協定』を結び、災害時に迅速に避難できる避難先の確保をしてもらう狙いで、初の避難訓練を計画。

友達や親せきの家を避難先にできるよう「パートナーシップ協定」を結んで避難する

お世話になります

パートナーシップ協定先

指定避難所

避難完了のサインはタオルで

天竜川が氾濫した時！



発行所
飯田市松尾公民館
編集人
松尾公民館広報委員会
印刷：龍共印刷(株)

8月20日飯田市危機管理室と松尾地区自主防災会の主催で、100年に一度の大雨による天竜川の氾濫を想定した避難訓練を実施した。避難対象地区は、浸水想定区域の新井区・寺所区・明区・清水区の4区。

6月に市危機管理室による事前説明会をこの4区で行い、8月初めまでに松尾地区内全戸にパートナーシップ協定書を付記した訓練の案内冊子やアンケート用紙が配布された。このパートナーシップ協定書は、災害時に学校や体育館といった指定避難所での共同生活に抵抗を感じる人にも、気安く避難させてもらうよう、あらかじめ親戚や友人、実家などと結んでおく協定書のことで、全8条からなる。今回の訓練では、指定避難場所の松尾小学校と緑ヶ丘中学校のほかに、このパートナーシップ協定先への避難も促した。

また、今回は車での避難

とすることで、貴重品や思いの品等の最低限の財産の搬出や、車を避難場所での生活の場にできるようにした。そして、避難時には隣近所への声かけと、玄関先にタオルをかけて避難完了の合図とするよう行動手順を指示した。

当日は午前8時半避難難情報告表、同9時半避難勧告発令、同10時半最終の避難指示発令と3段階でエリアメールや防災行政無線で指示した。避難指示の際の防災行政無線では、チャイム音ではなくサイレン音とし、緊迫感を高めた。

常盤台の中山さん フォークの全国大会で快挙!!

8月16日、東京都渋谷区のNHK放送センターで開催された「第2回！夏の選抜！フォークおやじバトル!!!」で、常盤台区の中山昭さん(58)がソロ部門優勝の栄冠に輝いた。

これは、NHKが主催し、40歳以上を対象にソロ部門とデュオグループ部門とでアマチュアフォークシンガーの頂点を決める全国大会。ソロ部門本選では音源審査を通過した8人がトーナメント方式で競い、なぎら建彦さんら審査員と生放送を聴いた一般リスナーの投票で勝敗が決まった。

中山さんは準々決勝でオリジナル曲「ハッピーエンドでなくっちゃね」、準決勝で高田渡の「風」を演奏して勝ち抜き、決勝はオリジナル曲「模型飛行機の頃」を披露して、見事栄光を手にした。審査員長のなぎらさんは「ギターの指使いが一番激しかった。技術もある」と評した。

中山さんは優勝の特典としてNHKラジオ第1の「なぎら建彦のフォーク大集会」にゲスト出演。8月20日に行われた「飯田フォークフェスタVOL.3」にも登場した。

中山さんの本業はイラストレーターで、「音楽は趣味」というが、ギター歴



フォークおやじの頂点に立った中山さん (写真はIIDA WAVE 提供)

40年、各地のフォークジャンボリーに出演したりコンテストに挑戦したりと玄人は、だしの経歴を持つ。「もっと腕を磨き、アマチュアとして多くのステージに立ちたい。今回のことは、全国にいるもっと上手な人に会った時の名刺代わり」と謙遜しつつも喜びを語ってくれた。



避難訓練の結果は？

午前8時半から開始された大避難訓練は、同11時半に終了した。訓練終了時の小中学校への合計避難車数は144台で、対象世帯数の約1割だった。当初は渋滞や混乱が予想されたが、スムーズな避難車の動きと訓練終了後のスタッフへのあいさつで、市危機管理室長の吉村啓史さんは「一番の成果は、地域の方々に避難の手順を理解していただけたことではないか」と語った。

今回の訓練の最終結果については、アンケートで協定先への避難者数も集計して分析すると共に、今後の災害対策や訓練に生かしていく予定。

松尾の人口
男子 6,192人
女子 6,882人
計 13,074人
世帯数 5,019世帯
8月末現在

計ること、いざという時の被害を最小限にとどめることができるであろう。

松風

平成28年は、熊本地震に始まり、鳥取地震、北海道東北を襲った台風、12月には糸魚川の大火災と

いい大人人形劇フェスタ 2017

きらめく夏 魔法の笑顔 松尾の笑顔



8月5日上溝集会所を会場に、劇団「たけとり座」が『腹話術人形 けんちゃん』

上溝区

んとけつたいな仲間で「ショー」を上演した。ステージにはキャストの竹の屋善右衛門さんと雪之丞すみれ太夫さんの操る、ネコのこたろう・ヘビのすねちゃんりーダーのけんちゃん・ゴリラのこくうちゃん・魔法使いのおばあさん・茶髪のかぐや姫といった人形たちが次々と登場。大人から子供まで70人の観客の前で、

どうなるのかな？

飯田での公演が5回目となる竹の屋善右衛門さんは、「毎回の公演で観てもらいたい演目がどんどん増えていって今年も公演に大いに熱を込めた。とってもいい会場でよかった」と語った。



お前の初夢は？

大いに盛り上がった。公演終了後は出演者と新井区スタッフによる交流会が催され、受け入れ側の熱意や取り組みに感激していた。

8月6日の午前10時より新井コミュニティ消防センターにて100人を超える観客を迎え、「よるすや〇」による人形劇『夢見小僧(ゆめみこぞう)』と人形劇団わたぐも『さんびきのこぶた』が上演された。

新井区

8月6日清水区コミュニティ防災センターで60人の観客が人形劇公演を楽しんだ。清水区は公演会場を30年前から提供し、劇団の荷物搬入・車の誘導等や交流会の準備運営を分館事業として実施してきた。

8月6日清水区コミュニティ防災センターで60人の観客が人形劇公演を楽しんだ。清水区は公演会場を30年前から提供し、劇団の荷物搬入・車の誘導等や交流会の準備運営を分館事業として実施してきた。

松尾公民館



馬の踊り「ジャティラン」体験

8月4日に松尾公民館ホールで、想造舎「ハナ☆ジョス」による『しじみのさぶちゃん』『おいしそうなピモ』の2作品が上演され120人の来場者が楽しんだ。『しじみのさぶちゃん』は、

清水区



なんて斬新な！

8月6日清水区コミュニティ防災センターで60人の観客が人形劇公演を楽しんだ。清水区は公演会場を30年前から提供し、劇団の荷物搬入・車の誘導等や交流会の準備運営を分館事業として実施してきた。

「暑い、コメは3回採れ、バナナには長いものや紫色のものもあります。是非行って下さい」と佐々木さんはインドネシアを紹介した。途中、子供たちに、村祭りのジャティラン(馬踊り)と、楽器の体験コーナーがあり、馬型の人形にまたがって場内を駆けまわり、一気に会場の雰囲気盛り上がった。最後のふれあいコーナーでは、来場者が思い思いの影絵を手に取り動かし、ガムランを叩いて音を出して楽しんだ。

毛賀区



ぼおと握手

8月5日毛賀区民会館では、緑ヶ丘中学校「みどり座」による『欲張らない心』劇団「にんぎょう畑」による腹話術『ねずみのチュウ吉』落語人形劇『もと・いぬ』が上演された。「みどり座」の上演中に書き割り(舞台背景に使うセツト)が倒れるアクシデントもあったが全員の力で乗り越え、子供たちは、食い入るように見入っていた。また「にんぎょう畑」の川田さんは、1人でいくつもの人形を操り、迫力ある人形劇で100人の来場者を魅了、くぎづけにした。



水城区 老いてなおサイエンス!



ひとつだけ動かしてみよう

7月15日水城消防コミュニティセンター1階にて高齢者クラブ主催の出張サイエンスクールが行われた。冒頭、司会の丸井勝久さんは「見る・知る・やってみる」ことにより脳を活性化させ老いを感じさせないようにしよう」とあいさつをした。最初の実験は感光紙を使った手形作り。実験当初は「物の重心」・「振動数と糸の長さの関係」・「大気圧の力」の実演をわかりやすい解説を交えながら行った。参加者は童心に返ったように活発に質問していた。熊谷さんは「日々の生活の中で、なぜそうなるのか常に疑問を持ち続けることが大切であり、それにより脳を活性化させる手助けになる」と語っていた。今回の出張サイエンスは高齢者が対象であり、スタッフにとっても初めての試みで不安があったようだが、参加者にはとても親しみやすく楽しい企画となった。

「お手軽カメラで写真展」作品募集のお知らせ

テーマ「松尾百景」



雨に濡れる夜の偶像

応募期間 平成29年12月1日(金)～12月28日(木)
提出先 松尾公民館
展示期間 平成30年1月8日(月)～2月4日(日)まで
テーマ 「松尾百景」松尾地区内で撮影された写真であれば、風景、人物、動物でもなんでもかまいません!
応募方法 「タイトル」「撮影日」「撮影場所」「名前(ペンネーム可)」「一言コメント」を明記のうえ、ご応募ください。お一人様1枚の応募とさせていただきます。なお、選出されたものの中から、まつお新聞、来年度の募集チラシへ掲載させていただきます。

久井区 集会所開催で成功！

7月29日、久井区納涼大会が開催された。雨が心配されたため会場を公園から集会所へ変更したが、最後の富くじ抽選まで大勢の区民が参加し、暑さも吹き飛ばし、一夜となった。夜店も盛況で、女性部が朝から調理した唐揚げ・五平餅は瞬く間に完売。壮年会による射的も子供たちに大人気だった。



うまく踊れるかな～？

城 区 今年も大盛況！



7月16日、城區サマーフェスティバルが城區集会所で開催された。午後3時から駐車場に張られたテント屋台で、壮年会と昭和会が焼き鳥などを威勢よく焼き、300人分を無料で振る舞い大盛況。子供たちは、小中学校のPTAが用意した水ヨーヨーなどに大はしゃぎであった。5時から、芸能祭りがスタートした。総勢14組の参加があり、歌や踊り、マジックや演奏など、練習の成果を参加者が披露した。

子供2人による「金曜日のおはよう！」の歌に合わせた可愛い踊り。23番組の「みんなで踊るエビカニスク」や翔舞の「ヨサコイ・龍・ドラゴン」は、踊りと衣装が素晴らしかった。いずれもアンコールで盛り上がった。トリは壮年会の「35億 壮年会 ver」で、夏の暑さを吹き飛ばすほどの勢いであった。

明 区 800人の夏祭り

8月6日、明公園にて納涼夏祭りが開催された。事前に各戸に配布された引換券で交換できる飲食物の他、かき氷、おたぐり等は無料。おたぐりは開始から30分で無くなるほどの人気だった。

また、お子様コーナーのヨーヨー釣り、輪投げ、ストラックアウト、スイカ割りには長蛇の列ができた。ショータムでは、明区伝統の「両壁太鼓」などを鑑賞した後、子供たちが自由に太鼓を打つことも経験した。続いて、子供対象のビンゴ大会を行った。



スイカ割りががんばってね

代田区 夏祭りでサイエンス

7月30日、サイエンス教室に80人の児童が参加した。今回は「空気をテーマに」をテーマに「空気砲」、「傘袋」、「紙コブター」などの実験が行われた。うまく紙コブターを回せない友達に「こうすれば回るよ」と教え合う姿も見られた。

「新聞紙ドーム」の実験では、新聞紙を使った大きなテントに数人がうちわで風を送り膨らませた。一度に35人位入ることができ、最後はドームを外に出た。これには中の子供も外で見て喜ぶ。「うちわの風だけでドームが膨らむとは思わな



3・2・1 出た～！

かった」「ドームを破るところがすごく面白かった」と話し、皆満足そうな顔であった。

2017 夏の日のスケッチ

暑さに負けず 各地でマレットゴルフ大会
真夏日の続いた7月から8月、松尾地区では分館主催のマレットゴルフ大会が、各地区で開催された。7月16日の代田マレットゴルフ大会では、天気予報は雨模様だったが、当日は朝からの晴天。受付時にお茶のペットボトルが配られ熱中症に備えた。夏日ではあったが、八幡山マレットゴルフ場は木陰が涼しく、爽やかな会場には楽しげな笑い声が響いていた。表彰式の後、参加者からは「天気が良くて気持ち良かった」「汗をかくのが大変だったが楽しかった」「上級者が同じグループについてアドバイスしてくれたので、いつもより良い結果を残すことができた」との声が聞かれた。他地区でも、7月23日には毛賀分館、7月30日には八幡町分館、8月6日には城分館で、マレットゴルフの大会がそれぞれ開催され、参加者は上位入賞を目指して真剣に、そして和気あいあいとプレーを展開していた。



62歳から84歳まで22人が参加し、27ホールを回る。優勝はなんと、最年長の平栗晃さん。



爽やかな木陰でマレットゴルフを楽しむ参加者



28人が参加。森山広人分館長は「マレットゴルフ同好会が朝5時から2時間かけてコースの整備をしてくれた」と感謝。

(八幡山マレットゴルフ場)



「天候に恵まれ涼しい」と、参加者は楽しくスティックを振った。毛賀高齢者クラブ会長の伊原東穂さん「囲碁よりマレットゴルフの方が難しいです」(松尾マレットゴルフ場)

- 公民館の主な行事予定 (10月～12月)**
- 【10月】
 - 8日(日) 松尾地区市民運動会
 - 29日(日) 松尾バレーボール連盟後期大会
 - 【11月】
 - 11日(土) 松尾サイエンススクール
 - 12日(日) 飯田市女性バレーボール大会
 - 23日(木) 公民館大掃除
 - 【12月】
 - 3日(日) 第14回松尾踊ってみよう会
 - 9日(土) 松尾サイエンススクール
 - 10日(日) 3地区合同女性バレーボール大会

松尾図書館

(公民館2階)

開館日 水曜 午後1～5時
土曜 午前10～午後5時
日曜 午後1～5時

本のリクエストも受けつけています。

松尾市政懇談会

リニア時代を見据えて

7月18日松尾公民館ホールにて飯田市、松尾まちづくり委員会主催の松尾地区市政懇談会が開催され、牧野市長をはじめ副市長や各部署の部長が出席し150人を超える参加者との情報交換が行われた。

懇談会は2部構成で進められ、1部では、牧野市長から市政経営の方向や方針の講演があった。今年度から始まる「飯田未来デザイン2028」としてリニア開通に

関した話や三遠南信の工事状況、産業振興と人材育成、田舎に帰ろう戦略の取り組み事例など具体的な説明がされた。

2部では、地域課題に関する懇談会が行われた。まず、緑ヶ丘中学校3年生の生徒4人が、リニア開通時に飯田のために自分ができること

と緑ヶ丘中学校生徒200人を対象に行った「飯田市の長所・短所・自分ができる飯田市（松尾地区）にたいして用意すべきことは何か」のアンケート結果を発表した。自然を守りつつ飯田市の魅力を作り出し住んでみたいと思える環境にしたい、他の都道府県に飯田市をもっとアピールする（水引）などの提案があった。



講演をする牧野市長



発表する4人の緑ヶ丘中学生

次に松尾サイエンス（科学実験教室）の取り組み活動の発表があり、「科学で育む地育力」について三浦宏子さんより活動報告があった。続いて古墳や公園の保護活動に関する報告と提案が水城区の塩澤良明さんよりあった。発表後、来場者により活発な意見交換がなされ、提案に対して市長他、各部長から返答対応がされた。

災害に備えて

飯田市地震総合防災訓練

9月3日、8時より防災行政無線、いたFM、ケーブルテレビで訓練緊急地震速報の放送があり飯田市地震総合防災訓練が開始された。松尾の各



被災箇所を確認する避難交通班ら

地区でも、組合単位で道路や広場に集まり安否を確認する様子が見られた。松尾公民館には松尾地区自主防災会対策本部が開設され、対策本部長、消防団、日赤奉仕団が参集した。対策本部では、各区災害対策

本部の設置状況や避難状況の報告が無線で行われ、集計した結果を共有した。慌ただしい中、被害状況の報告も同時に行われ、弁天橋が崩落するなどの大きな被害報告もあり、現場確認のためのバイク隊も出動した。10時過ぎに松尾地区総勢8112人の安否が確認でき対策本部を閉会した。

その後行われた反省会では、「処理の流れがわかりやすくなるように見直した方がいい」「紙で集計するのはなく、今後はパソコンなどの導入が必要ではないか」など、実際の災害時に混乱しないようにするための意見が数多く出た。最後は、各地区の日赤班員による炊き出しのおにぎりと味噌汁を頬張り緊張も溶けた。

飯田線全線開通80周年記念 伊那八幡駅にアルプス号が来た！

1937年（昭和12年）に飯田線が全線開通してから80周年を迎えた記念イベントが8月19日・20日に行われた。

さて、それでは問題。私たちが住んでいる松尾にある伊那八幡駅と毛賀駅はそれぞれ何周年か？

答えは、伊那八幡駅が91周年、1926年（大正15年）12月17日の竣工、毛賀駅が90周年、1927年（昭和2年）4月8日の竣工である。

飯田線の歴史は更にさかのぼって1897年（明治30年）豊川鉄道から始まり、伊那電気鉄道、鳳来寺鉄道、三信鉄道がそれぞれ設立され、1937年8月20日全線が開通した。1943年8月1日国鉄飯田線が誕生した。

伊那八幡駅では1975

年までは貨物列車が停車し荷物を積んだり降ろしたりする光景が見られた。そして1985年までは客車と荷物車が連結し郵便物など積んでいた。また、急行や準急と呼ばれるディーゼル車両も停車する駅であった。



オレンジ色が映えるアルプス号

記念イベントが行われた19日には記念の車両アルプス号が伊那八幡駅にも停車した。当日飯田駅と伊那八幡駅にかけてつけた平栗大和君は「一時間に伊那八幡駅で列車

八幡町区

新しい祭の形へ

9月9日に鳩ヶ嶺八幡宮の秋季例大祭が行われた。年番制になって3度目の年番区となった八幡町区では、どのような形の祭りにするか、実行委員会を中心に連日話し合いを行い、準備を進めて来た。

昨年度から小学校グラウンドでの大三国が無くなり、各地区の神輿が一同にきおう姿が見られなくて残念だという意見を受け、今年度はきおい込み前に、各地区の大人神輿を駅前からの道



鳩ヶ嶺八幡宮秋季例大祭実行委員会

路に並べることとした。また、待機場である農協駐車場を、他地区の人らと交流ができる場とした。各地区の神輿は、本年前で「神輿きおい」の挨拶を受けた後宮入りをし、お祓いを受けた。きおい込みの際、11地区すべてにミ二三国が打たれ、祭りを一層盛り上げた。



神輿を迎えるミ二三国

ふれあいひろば
親子映画鑑賞会
7月1日に、アニメ「ミニオンズ」を上映する、親子映画鑑賞会が公民館ホールで行われた。入場待ちの子供たちが30分以上前から入口で待つ状態で来場者は480人となった。
*ラフティング体験教室
7月15日にラフティング

体験教室が参加者12人で行われた。「アルプスぼうけん組」楽部のインストラクターに指導を受け、天竜川を荒波の流れの中下った。

